

事業番号	07 05 14	事業改善シート (25年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	工科短大設備整備事業				担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	人材育成課		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興等 4 人材の育成・確保 1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり 1 職業能力開発の推進			E-mail	jinzai@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H7 ~		

## 1 事業の概要

目指す姿	主に新規学卒者対象として、就業に必要な高度な技術・知識を習得させる職業訓練を実施することにより、技術革新に対応できる高度な実践技術者を育成し、就業に結び付ける。		
現状	<input type="checkbox"/> 少子化(若年層の労働力人口の減少)、高学歴化(大学全入時代)、若者のものづくり離れ等により、本県経済を支える製造業等において若年技術者が不足している。 <input type="checkbox"/> 企業ニーズに対応するため技術革新に対応できる訓練設備の整備・更新を行う必要がある。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 国庫補助を有効活用しながら実施することが効果的 職業能力開発促進法第19条、第9次長野県職業能力開発計画、長野県ものづくり産業振興戦略プラン	
	県民との協働による実施: 困難		

事業内容	① 成果目標(H25)				
	修了生の就職率100%を目標とする。 定員充足率100%を目標とする。				
	② 事業内容 (単位:千円)				
		項目	実施方法	H25事業実績	
				H25 (当初) H25 (決算) H26 (当初)	
		研究費等の消耗品費	直接	・独自研究消耗品 ・受託研究消耗品 ・機械設備の修繕	6,972 6,217 7,128
		通信費、郵送費等	直接	・パソコン通信用電話回線通信料 ・研究紀要郵送料 ・EVカー等運送費	611 197 628
		設備リース料	直接	・既設設備リース料 ・更新設備リース料	56,147 55,442 55,477
		改修等工事費	直接	・学生寮工事費	1,541 1,540 0
		訓練機器等購入費	直接	・独自研究備品 ・共同研究備品	5,872 140,251 6,040
	研修等への参加費	直接	・企業研修 ・学会等負担金	842 687 842	
			合計	71,985 204,334 70,115	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	65,469	69,172	71,985	70,115
	補正予算	-878		134,418	
	合計(A)	64,591	69,172	206,403	70,115
	国庫支出金	30,576	32,879	167,933	33,253
	県債				
	その他(使用料等)	1,826	6,000	6,000	6,000
	一般財源	32,189	30,293	32,470	30,862
	決算額(B)	62,816	68,110	204,334	
概算職員数(人)					
概算人件費(C)	0	0	0	0	
概算事業費(B(A)+C)	62,816	68,110	204,334	70,115	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
修了生の就職率	H25.3 100%	100%	H26.3 98.2%	未達成	100%
定員充足率	H25.4 107.5%	100%	H26.4 92.5%	未達成	100%
在職者訓練受講者数(技専校含む)	H24 2,020人	2,000名	1,830名	未達成	2,000名

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>最後まで就職支援を行ったが、本人希望とのミスマッチ等により未就職となった者がいたため、修了者の就職率に係る目標が達成できなかった。</li> <li>工科短期大学の職業訓練は主に新規学卒者を対象としているが、景気の回復基調により求人が増えたこと、また、大学への進学などにより、工科短期大学の定員充足率が低下した。</li> <li>在職者訓練は、職業能力開発協会で行っている事業とのすみ分けにより、高校生向けの講座等が減少したため、コース数・受講者数ともに減少した。</li> </ul>
-------------	---

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>修了生の就職率については、引き続き就職指導との支援体制を維持していく。</li> <li>定員充足率については、カリキュラムの見直しや施設・機器の整備を通じて、地域ニーズに応えた魅力的な校づくりを進めていく。</li> </ul>